

## IV 良質な個別サービスの実施(障害者施設:居住サービス)

【 評価項目 】		a	b	c	Na	判断の理由
<b>A-1 利用者の尊重</b>						
<b>(1) 利用者の尊重</b>						
1	1	○				職員は、じっくり利用者の声に耳を傾けていくことを基本としている。言語に障害のある方には、パソコンやワープロ、文字盤など様々な機器を使用し、コミュニケーションが図れるよう配慮している。
2	2	○				利用者の希望を最大限尊重するよう努めている。外食や外出、映画鑑賞、パソコンの使用、ビーズ、ちぎり絵、塗り絵等主体性を尊重し、日中活動は選択できるよう工夫している。
3	3	○				過去のヒヤリハット事例を参考にしながら、安全に配慮した声かけや見守りをしっかり行い、自立生活ができるように支援を行なっている。また、電動車いす、電動ベッド等の生活補助具の利用もなされている。
4	4	○				日中活動委員会において、利用者の希望をプログラムした外出支援を行なっている。外出支援を自由に楽しんでもらうために、利用者の外部との交渉能力等を段階を追ってできるような単独外出、付き添い外出での映画鑑賞、買い物、外食、コンサート、旅行に関する支援を行い、ひとりひとりがチャレンジすることを見守っている。
<b>(2) 利用者の権利擁護</b>						
5	1	○				人権擁護検討委員会で、虐待防止マニュアルの周知徹底を行なうとともに、職員のチェックリストを利用して対応している。また、成年後見制度の利用もあり、積極的に相談に応じている。
<b>(3) 家族との連携・交流</b>						
6	1	○				保護者会で家族や保護者に対し、サービス内容や本人の活動等を知らせている。また、家族からの相談にも積極的に応じている。園内文化祭である秋華祭にも多くの家族が参加されている。
<b>(4) 生活環境づくり</b>						
7	1	○				居室は4人であり、カーテンで仕切りプライバシーの保護に留意している。利用者ひとりひとりの思いが詰まっており、タンスやテレビの持ち込みも可能であり、自分のスペースを演出しやすさの空間づくりがされていた。新しく生活介護ルームを作り、日中活動の場として活用している。
<b>A-2 日常生活支援</b>						
<b>(1) 食事</b>						
8	1	○				栄養ケアマネジメントに基づいた、身体状況や嗜好を考慮した食事サービスの提供や地産地消、旬の食材を利用した安全安心な食事サービス提供がなされている。また、スプーンなど自力摂取できるよう、PTのアドバイスにより自助具の工夫がされていた。
9	2	○				利用者の高齢化に伴い、誤嚥性肺炎、嚥下障害の増加が見られるため、ミキサー食、ミキサー固形食等の工夫を加えている。定期的に嗜好調査も実施し、安全に安心して美味しく楽しく食べられる工夫がされていた。

【 評価項目 】		a	b	c	Na	判断の理由
10	3	○				夕食時において、食事時間に幅をもたせる工夫を行っている。また、飲み物の自動販売機を設置し、10:15～11:00自由に使えるよう配置されており、利用者には好評である。
<b>(2) 入浴</b>						
11	1	○				安全、安楽の観点から、事前に利用者のバイタルチェックを行ない、またチェアインバスや特殊浴槽は選択できる。プライバシー保護の観点から同性介護を重視している。
12	2	○				入浴の順番や入浴装置の選択は利用者の希望に十分対応しているが、希望日の入浴は実施していない。今年度は、入浴日を増やし昼のスタッフも増員し、ゆっくりと入浴できるよう工夫している。
13	3		○			脱衣場が、狭くかなり狭隘であるため廊下とカーテンで仕切って脱衣場の代用とし、プライバシーの保護を図る工夫が見られる。さらに、空調設備面でも十分でない状況となっている。
<b>(3) 排泄</b>						
14	1	○				トイレ、ポータブルトイレ、オムツ、パットの排泄補助具等、利用者が状況によって使用できるよう配慮されている。利用者用排便表に記入し、毎日の排便状況が記録されている。また、プライバシー保護の観点から、同性介護を重視している。
15	2	○				利用者や家族の要望から、改修工事を行い、プライバシーに配慮した明るい使いやすいトイレ環境に整備されている。毎日の掃除や使用後の換気等に気をつけるとともに、防臭対策を行なっている。
<b>(4) 移乗・移動</b>						
16	1	○				移乗等の支援は、個別支援計画に基づき実施している。また、トランファーボードを活用し、安心・安全な移動に心がけている。新人職員のための介護技術研修を行ない、レベルアップを継続的に図っている。
<b>(5) 衣服</b>						
17	1	○				利用者の個性や好みを尊重し、衣服の選択について支援している。
18	2	○				汚れや破損等、速やかなリフォームなどの対応を心掛けている。毎食後、衣類の汚れ等に気をつけている。
<b>(6) 理容・美容</b>						
19	1	○				髭剃り、歯磨きなどの整容は毎日行ない、爪切りは定期的に行なっている。また、歯の弱い方、歯がない方は、スポンジの歯磨きを使用するなど、工夫がなされている。外出時には、服装を選んだり、化粧をされ楽しまれている。
20	2	○				地域の理美容店、理美容ボランティア、移動理美容の3つの形態を利用者に選択してもらう対応をしている。

【 評価項目 】		a	b	c	Na	判断の理由
<b>(7) 睡眠</b>						
21	1 安眠できるように配慮している。	○				4人部屋の為、体位変換、夜尿起こし等、利用者によって対応が必要なケースが多いため、同室者の安眠を妨げるケースが起こる場合、利用者からの居室がえの希望にできるだけ応じ、安眠できるよう配慮がなされている。
<b>(8) 健康管理</b>						
22	1 日常の健康管理は適切である。	○				日々のバイタルチェック、月1回の検診等嘱託医との連携を強化し対応している。利用者の情報は、必要があれば家族に随時連絡をとっている。年1回 インフルエンザの予防接種を利用者、職員全員が受けている。
23	2 必要な時、迅速かつ適切な医療が受けられる。	○				緊急・救急対応マニュアルを整備しており、緊急受診の際は山口県立総合医療センターを利用している。
24	3 内服薬・外用薬等の扱いは確実にされている。	○				看護師による服薬配布及び管理などの服薬管理が、確実にされている。服薬介護では、指差呼称を徹底して行なっている。
<b>(9) 余暇・レクリエーション</b>						
25	1 余暇・レクリエーションは、利用者の希望に沿って行われている。	○				利用者自治会である「話し合おう会」の意向を反映させ、楽しく生きがいにもなるような季節感を取り入れたレクリエーションを企画したり、日中活動に組み入れている。新規ボランティアの受け入れも行なっている。
<b>(10) 外泊、外出</b>						
26	1 外出、外泊は利用者の希望に応じて行われている。	○				外出支援や単独外出は最大限希望に応じた対応を行なっている。外泊は、希望に応じられるよう有償ボランティア等の社会資源を活用している。また、盆、正月の帰省には、利用者、家族の意向を考慮し、送迎等も行なっている。
<b>(11) 所持金・預かり金の管理等</b>						
27	1 預かり金について、適切な管理体制が作られている。	○				預かり金管理要綱に基づき、適切に管理している。自己管理できるよう配慮し、現在は10名程度が小口現金を自己管理できている。
28	2 新聞・雑誌の購読やテレビ等は利用者の意志や希望に沿って利用できる。	○				利用者の希望により、新聞・雑誌等購読できるよう配慮している。ケーブルテレビの工事を行ない、BSチャンネルも利用者からの要望で映るようになった。
29	3 嗜好品(酒、たばこ等)については、健康上の影響等に留意した上で、利用者の意志や希望が尊重されている。	○				利用者の自治会で「くらしのしおり」を作成している。利用者の希望により、行事以外にも週3回平日の昼食時に飲酒が可能としている。

【 評価項目 】		a	b	c	Na	判断の理由
<b>A-3 自立支援</b>						
<b>(1) 訓練・作業の実施</b>						
30	1	利用者の状況に応じて、訓練又は作業等に参加する機会を提供している。		○		機能訓練室で機能訓練を実施している。生活訓練室では日中活動の一環として、利用者の意向や身体状況に応じてパソコンを自主的に活用した作業をしている。
<b>(2) 就労移行支援・就労継続支援</b>						
31	1	就労移行支援・就労継続支援のメニューは希望や特性に応じて選択できるよう配慮されている。			○	利用者は、重度のために就労及び就労希望者はいない。施設種別の特性により評価対象外とした。
32	2	利用者の状況に合った訓練指導・支援を行っている。			○	就労及び就労希望者がいないため、評価対象外とした。
33	3	工賃の支払いは適正に行われている。			○	工賃を支払う事業を実施していないため、評価対象外とした。
<b>(3) 地域生活への移行</b>						
34	1	利用者の状況に応じ、地域生活への移行についての支援を行っている。			○	生活介護事業の定員枠を5名増やし、地域の障害者の通所利用を促進した。利用者間で情報の交流が生まれ、地域活動への試みが、利用者の中で活発となるきっかけを図っている。今後、他の事業所との連携による情報提供がなされ、利用者への積極的な働きかけも可能である。